

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
生活	講義	2単位	片山 雅男

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

児童に寄り添った生活の授業を行うための考え方と知識を身につける。

- ・生活科の特質や教科目標、内容を理解できる。
- ・教材研究を通して「生活科」の内容についての知識を習得し、科学的に考察することができる。
- ・幼稚園教育との関連や総合的な学習への展開等についても把握できる。
- ・幼稚園から小学校低学年の生活を視野に入れた保育・教育ができる。

【授業の概要】

「生活科」は小学校低学年児童の身近な生活圏を学習の対象とし、児童の体験や具体的な活動を通して、自立への基礎を育むことをめざす科目である。本講義では、「生活科」の特質や目標、内容などについて学ぶ。なお、講義を中心に、アクティブラーニングも行う。

【全体の授業計画・内容】 講義進行上、講義順・内容の一部が変更されることもある。

1. オリエンテーション(小学校教育と生活科設置の経緯)

事前学習課題:テキストの改訂の経緯と趣旨について読んでおく。【0.5 時間】

事後学習課題:生活科の設置の経緯についてまとめる。【0.5 時間】

2. 生活科の特質と目標と内容を理解する

事前学習課題:テキストの生活科の目標について読んでおく。【0.5 時間】

事後学習課題:小学校生活科の9つの内容を確認する。【0.5 時間】

3. 学校と生活の内容

事前学習課題:テキストの生活科の内容(1)学校について読んでおく。【0.5 時間】

事後学習課題:学校の人や施設の種類の役割を確認する。【0.5 時間】

4. 家庭と生活の内容

事前学習課題:テキストの生活科の内容(2)家庭について読んでおく。【0.5 時間】

事後学習課題:家族の役割や自分の役割を確認する。【0.5 時間】

5. 地域と生活の内容

事前学習課題:テキストの生活科の内容(3)地域について読んでおく。【0.5 時間】

事後学習課題:地域の人や場所の役割を確認する。【0.5 時間】

6. 公共物や公共施設の利用の内容

事前学習課題:テキストの生活科の内容(4)公共物や公共施設について読んでおく。【0.5 時間】

事後学習課題:公共物や公共施設の利用と注意点についてまとめる。【0.5 時間】

7. 季節の変化と生活の内容

事前学習課題:生活科の内容(5)四季の変化や季節の行事について調べてみる【0.5 時間】

事後学習課題:環境・季節カレンダーを作成してみる。【0.5 時間】

8. 自然や物を使った遊びの内容

事前学習課題:生活科の内容(6)幼いころに行った自然や物を使った遊びについて考えておく。【0.5 時間】

事後学習課題:自然や物が遊びにどのように工夫して使われているかまとめる。【0.5 時間】

<p>9. 飼育活動の内容</p> <p>事前学習課題:生活科の内容(7)園や小学校で飼育されている動物を調べる。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:飼育動物のもつ教育上の効果についてまとめる。【0.5 時間】</p>
<p>10. 栽培活動の内容</p> <p>事前学習課題:生活科の内容(7)園や小学校で栽培されている植物を調べる。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:栽培植物のもつ教育上の効果についてまとめる。【0.5 時間】</p>
<p>11. 生活や出来事の交流の内容</p> <p>事前学習課題:テキストの生活科の内容(8)生活や地域の出来事について読んでおく。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:身近な人々と伝え合う活動の教育効果についてまとめる。【0.5 時間】</p>
<p>12. 自分の成長を振り返る内容</p> <p>事前学習課題:テキストの生活科の内容(8)自分の成長を振り返る活動について読んでおく。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:自分の成長を振り返る活動の役割についてまとめる。【0.5 時間】</p>
<p>13. 生活科と幼稚園教育との連携</p> <p>事前学習課題:生活科と幼稚園教育との連携について調べておく。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:生活科と幼稚園教育との連携の留意点についてまとめる。【0.5 時間】</p>
<p>14. 生活科から総合的な学習への発展</p> <p>前学習課題:小学校の総合的な学習について調べておく。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:総合的な学習についてまとめる。【0.5 時間】</p>
<p>15. 試験およびまとめ</p> <p>事前学習課題:授業で学んだことの内容を確認しておく。【0.5 時間】</p> <p>事後学習課題:試験内容について確認する。【0.5 時間】</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>小学校低学年の児童の能力・行動を念頭におき、各内容の理解に努めること。</p>
<p>【成績評価】</p> <p>筆記試験(60%)、提出物(20%)、受講態度(20%)により評価する。</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>試験等に対して別の用紙にコメントを記入して配布する。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>文部科学省『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 生活編』東洋館出版社 毎回プリントを配布する。</p>
<p>【参考文献】</p> <p>講義の中で紹介する。</p>
<p>【実務経験の有無】</p>